

例 言

1. 本書は、斑鳩寺講堂屋根葺替工事に伴う瓦銘調査報告のⅠである。
2. 調査は、太子町教育委員会社会教育課三村修次・田村三千夫が行なった。調査後の整理作業については、岩村千穂の協力を得た。
3. 本書の執筆は三村が行ない、編集は三村・田村が担当した。

目 次

1. 調査に至る経過	-----	1
2. 調査の方法	-----	1
3. 調査の結果	-----	1

挿図目次

第1図	斑鳩寺伽藍配置図	-----	表紙
第2図	講堂屋根瓦銘位置図	-----	2

表 目 次

第1表	斑鳩寺講堂屋根瓦銘文集成	I	-----	3
-----	--------------	---	-------	---

1. 調査に至る経過

斑鳩寺は、太子町鳩字斑鳩寺 709番地に所在する天台宗の寺院である。その講堂は、江戸時代中期、明和六年(1769)に再建され、昭和41・42年に背面屋根の東半分葺替修理が行なわれた。しかし、今回屋根葺瓦全体の弛緩が著しく、堂内の随所で雨漏りが生じて、堂内に安置されている国指定重要文化財の木造釈迦如来座像・木造如来観音菩薩座像・木造薬師如来座像に影響をおよぼすようになり、昭和64年 1月より『斑鳩寺講堂屋根瓦葺替修理事業』が実施されることになり、これに先立って、瓦銘の確認調査を平成元年 4月12日に実施し、6月27日までに拓本資料等の整理を行なった。

2. 調査の方法

斑鳩寺講堂屋根葺替修理作業による足場工事がすでに実施されており、屋根まで登ることができたので、屋根瓦全体の確認調査を実施した。

調査は、現状の写真撮影及び拓本を撮り、位置確認を行なった。

斑鳩寺は、太子町鳩字斑鳩寺 709番地に所在する天台宗の寺院である。その講堂は、江戸時代中期、明和六年(1769)に再建され、昭和41・42年に背面屋根の東半分葺替修理が行

3. 調査の結果

調査の結果、明和二年から明和八年の瓦銘で、『三木与兵衛』『三木庄兵衛』『三木伊八郎』等の瓦師棟梁の名がみられ、これらの工人によって作製されたと考えられる。

また、『大阪木津川口 瓦屋源兵衛』の刻印のある瓦も確認された。これによって、講堂屋根葺きの瓦作成年月日が明確にされ、供給の一端を知ることができた。

2. 調査の方法

斑鳩寺講堂屋根葺替修理作業による足場工事がすでに実施されており、屋根まで登ることができたので、屋根瓦全体の確認調査を実施した。

調査は、現状の写真撮影及び拓本を撮り、位置確認を行なった。

1. 調査に至る経過

斑鳩寺は、太子町鷓字斑鳩寺 709番地に所在する天台宗の寺院である。その講堂は、江戸時代中期、明和六年(1769)に再建され、昭和41・42年に背面屋根の東半分葺替修理が行なわれた。しかし、今回屋根葺瓦全体の弛緩が著しく、堂内の随所で雨漏りが生じて、堂内に安置されている国指定重要文化財の木造釈迦如来座像・木造如来観音菩薩座像・木造薬師如来座像に影響をおよぼすようになり、昭和64年1月より『斑鳩寺講堂屋根瓦葺替修理事業』が実施されることになり、これに先立って、瓦銘の確認調査を平成元年4月12日に実施し、6月27日までに拓本資料等の整理を行なった。

2. 調査の方法

斑鳩寺講堂屋根葺替修理作業による足場工事がすでに実施されており、屋根まで登ることができたので、屋根瓦全体の確認調査を実施した。

調査は、現状の写真撮影及び拓本を撮り、位置確認を行なった。

斑鳩寺は、太子町鷓字斑鳩寺 709番地に所在する天台宗の寺院である。その講堂は、江戸時代中期、明和六年(1769)に再建され、昭和41・42年に背面屋根の東半分葺替修理が行なわれた。しかし、今回屋根葺瓦全体の弛緩が著しく、堂内の随所で雨漏りが生じて、堂内に安置されている国指定重要文化財の木造釈迦如来座像・木造如来観音菩薩座像・木造薬師如来座像に影響をおよぼすようになり、昭和64年1月より『斑鳩寺講堂屋根瓦葺替修理事業』が実施されることになり、これに先立って、瓦銘の確認調査を平成元年4月12日に実施し、6月27日までに拓本資料等の整理を行なった。

3. 調査の結果

調査の結果、明和二年から明和八年の瓦銘で、『三木与兵衛』『三木庄兵衛』『三木伊八郎』等の瓦師棟梁の名がみられ、これらの工人によって作製されたと考えられる。

また、『大阪木津川口 瓦屋源兵衛』の刻印のある瓦も確認された。これによって、講堂屋根葺きの瓦作成年月日が明確にされ、供給の一端を知ることができた。

2. 調査の方法

斑鳩寺講堂屋根葺替修理作業による足場工事がすでに実施されており、屋根まで登ることができたので、屋根瓦全体の確認調査を実施した。

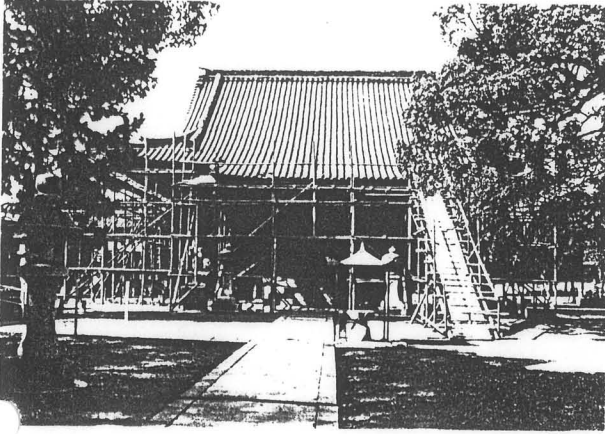
調査は、現状の写真撮影及び拓本を撮り、位置確認を行なった。

3. 調査の結果

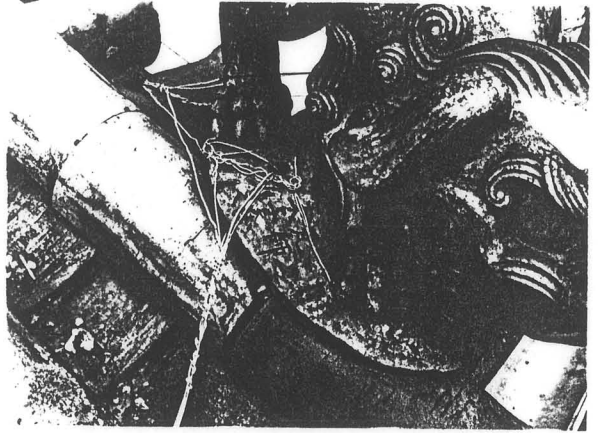
第1表 斑鳩寺講堂屋根瓦銘文集成 I

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	記載位置	銘文	文献
1	1765 明和 2	講堂向拝東端	獅子付留蓋	正面左側面 正面	瓦師 三木与兵衛 作之 明和二酉 八月日	
2	1765 明和 2	講堂向拝西端	獅子付留蓋	正面 側面 正面	播州揖西郡 作人龍野住 瓦師 三木与兵衛 明和二酉 八月日	
3	1769 明和 6	講堂北西隅棟	二の鬼	正面	明和六年 丑ノ五月吉日 庄兵衛行 治七郎	
4	1769 明和 6	講堂北西棟	隅鬼	正面 正面	明和六年 丑ノ五月吉日 三木庄兵衛行 治七郎	
5	1769 明和 6	講堂北面西側	降鬼	正面 正面	明和六年 丑ノ五月吉日 鶴住人藤原氏三木 庄兵衛行 治七郎	
6	1771 明和 8	講堂東妻北側	降鬼	正面 正面	鶴住人 三木庄兵衛 寅ノ土相月日	
7	1771 明和 8	講堂東妻南側	降鬼	正面 正面	鶴住人 三木庄兵衛 明和八歳 寅ノ土相月日	
8	1769 明和 6	講堂向拝部	丸瓦	凸面	明和六年己丑二月十七日 始之 瓦師當所 三木伊八郎 造作 現世安穩 後世善處 當寺雙樹沙門妙志記之	
9		講堂東妻	軒丸瓦	凸面	南無阿弥陀仏□□	

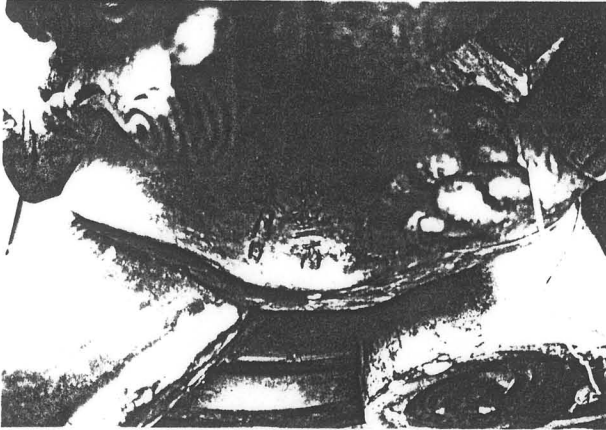
番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	記載位置	銘文	文献
10		講堂南面東隅	軒丸瓦	凸面	模様	
11 12 13		講堂袖右側	平瓦	凸面	刻印 大阪木津川口 瓦屋源兵衛	
14	1769 明和 6	講堂南西隅	軒丸瓦	凸面	播州鶴住人藤原氏 瓦師屋 三木庄兵衛 明和六年 丑二月十七日	



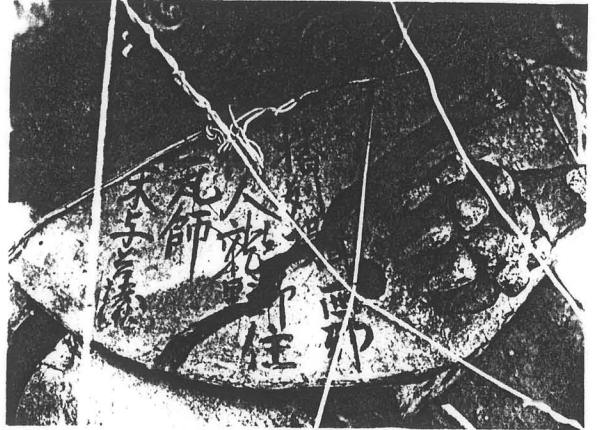
1. 斑鳩寺講堂全景



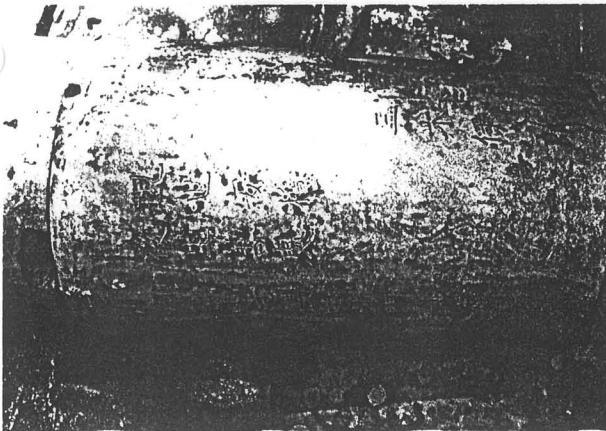
2. ①-1 の獅子付留蓋瓦銘



3. ①-2 の獅子付留蓋瓦銘



4. ②-1 の獅子付留蓋瓦銘



5. ⑧の丸瓦銘



6. ⑭の軒丸瓦銘

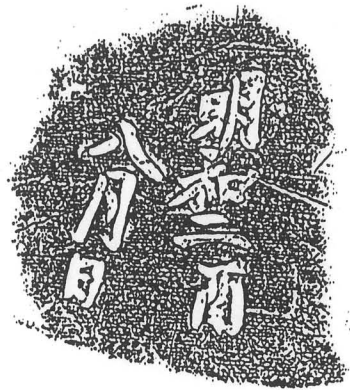
瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1-1	1765 明和 2	向拝東端	獅子付留蓋	瓦師 三木与兵衛 作之	
-2				明和二酉 八月日	



1-1



1-2

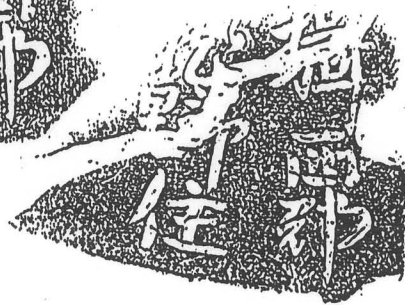
瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
2-1	1765 明和 2	向拝西端	獅子付留蓋	播州揖西郡 作人龍野住 瓦師 三木与兵衛	
-2				明和二 八月日	



2-1



2-2

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
3-1	1769 明和 6	北西隅棟	二の鬼	明和六年 丑ノ五月吉日	
-2				庄兵衛行 治七郎	



3-1



3-2

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
4-1	1769 明和 6	北西隅棟	隅鬼	明和六年 丑ノ五月吉日	
-2				三木庄兵衛行 治七郎	



4-1



4-2

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
5-1	1769 明和 6	北面西側	降鬼	明和六年 丑ノ五月吉日	
-2				鵜住人藤原氏三木 庄兵衛行 治七郎	



5-1



5-2

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
6-1	1771 明和 8	東妻北側	降鬼	鵜柱人 三木庄兵衛	
-2				明和八年 寅ノ土相月日	



6-1



6-2

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鶴 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
7-1	1771 明和 8	東妻南側	隅鬼	鶴住人 三木庄兵衛	
-2				明和八歳 寅ノ土相月日	



7-1

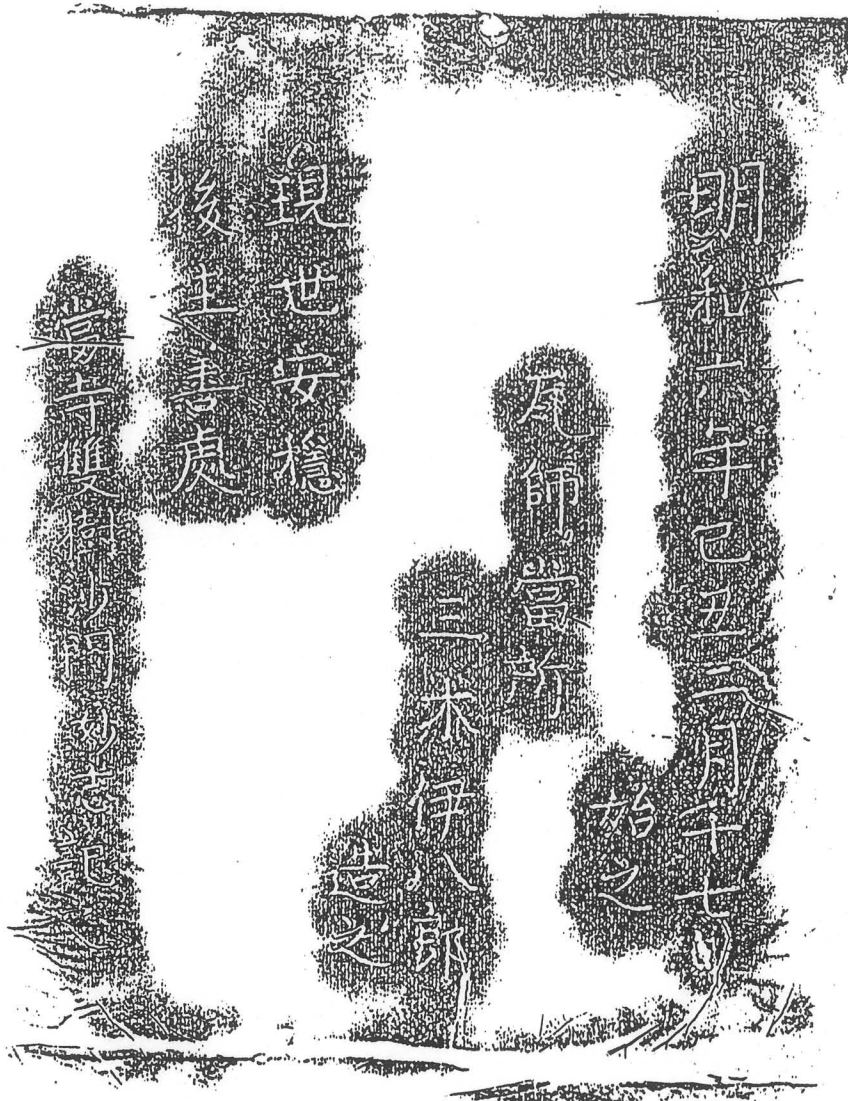


7-2

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鰯 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
8	1769 明和 6	向拝部	丸瓦	明和六年巳丑二月十七日 始之 瓦師當所 三木伊八郎 造之 現世安穩 後生善處 當寺雙樹沙門妙志記之	



瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鶴 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
9		東妻	軒丸瓦	南無阿弥蛇仏□□	

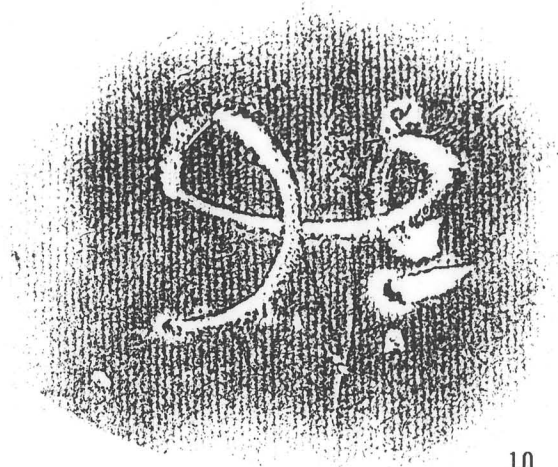


瓦文

斑狂丸鳥寺

(太子町鶴709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
10		講堂南面東隅	軒丸瓦	模様	



瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鶴 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
11		袖右瓦	刻印	大阪木津川口 瓦屋源兵衛	
12					
13					



11



12



13

瓦文

斑鳩寺 講堂 (太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
14	1769 明和 6	南西隅	巴	播州鵜住人藤原氏 瓦師屋 三木庄兵衛 明和六歳 丑二月十七日	



